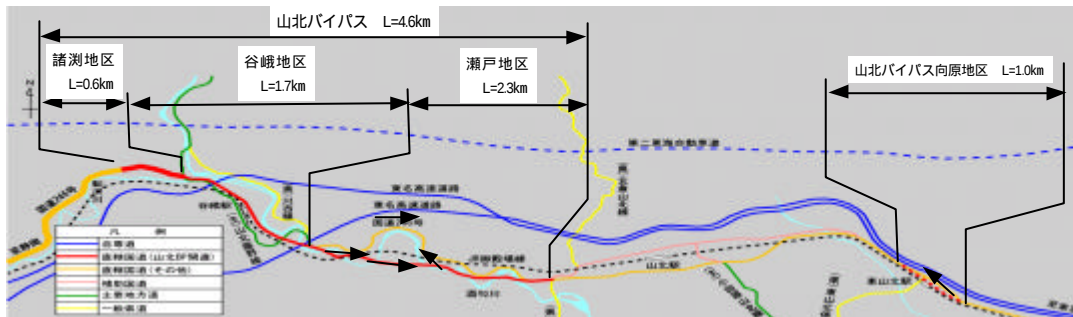


6 . 道路整備の効果

(1) 山間部の線形改良

山北バイパスの整備により、交通に支障をきたしている連続した急カーブと狭小幅員が解消します。



瀬戸地区現道区間



山北バイパス（瀬戸地区）



瀬戸地区現道区間



山北バイパス（瀬戸地区）



向原地区現道区間

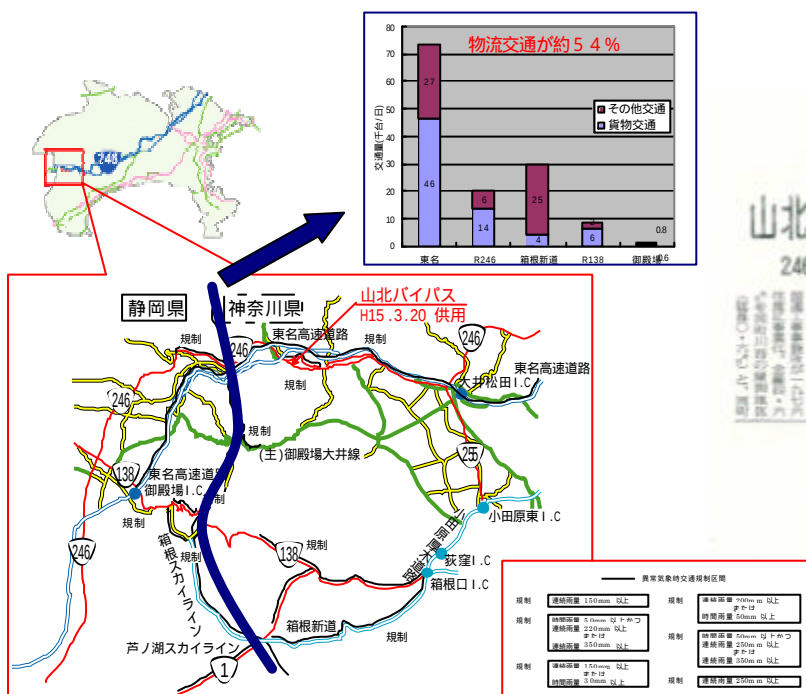


向原地区完成予想図

(2) 異常気象時の通行規制区間の解消

神奈川県・静岡県境における断面交通は約 1 3 万台あり、そのうち約 5 4 % は貨物車等の物流交通であり、一般国道 2 4 6 号は首都圏と中部地方との物流を担う重要な路線です。

しかし、神奈川県と静岡県を連絡する道路には異常気象時の通行規制区間があり、平成10年以降で2回、神奈川・静岡間が交通断絶状態となりましたが、平成15年3月に山北バイパス瀬戸地区が暫定供用したことにより、一般国道246号の異常気象時の通行規制区間が解消し、安定した物流の確保が可能となりました。



平成 15 年 3 月 20 日
山北バイパス供用
新聞記事（神奈川新聞）



山北バイパス通行状況



供用後の通行規制状況
(左：現道　　右：山北バイパス)